

プラント状況確認結果(平成26年10月21日～10月28日)

平成26年 10月 28日
福島県原子力安全対策課

○ 平成26年10月21日～10月28日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ 1号機において、使用済燃料取り出しに向けたガレキ撤去作業を進めるため、平成26年10月22日7時08分から原子炉建屋カバーの解体に向けた作業を開始しました。詳細はこちらをご覧ください。

平成26年5月21日10時25分、地下水バイパス揚水井から汲み上げ、一時貯留タンクに貯水していた地下水バイパス水の排水を開始しました。詳細はこちらをご覧ください。

また、平成25年11月18日15時18分、4号機使用済燃料プールからの燃料取出し作業が開始しました。詳細はこちらをご覧ください。

(1) プラント状況 (10月28日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.4	4.5	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	26.0	32.7	31.3	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³) (A系)	1.84×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.03 ^{※4}	0.06	0.06	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	22.5	21.1	19.7	18.3

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

※4 A系は指示不良に伴いデータ欠測のためB系の値。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (10月28日午前10時)

最小 1.337 (MP-6) ～ 最大 4.093 (MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒ [計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果 (10月27日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、港湾口、6号機取水口前) ～ 最大 24(4号機スクリーン) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果 (10月27日採取分)

5,6号機放水口北側に30m : 検出限界未満 ※検出限界値は0.63 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3km : 検出限界未満 ※検出限界値は0.57 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果 (10月27日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果（10月27日採取分）

最小 検出限界未満(4号機) ～ 最大 0.11(1号機) Bq/cm³

【参考事項】

10月28日

8時23分頃、1号機原子炉建屋カバー解体工事において、屋根パネルの開口部から飛散防止剤を散布していたところ、先端ノズル部が風により動き開口部が拡大したが、モニタリングポスト指示値等に有意な変動はなかった。

(問い合わせ 024-521-1917)